



第 34 回目のバスツアーは、3 年ぶりに赤城山を再訪しました。赤城山は、利根川本流と支流の片品川・渡良瀬川に挟まれた、東西約 20 km・南北約 30 kmの火山です。まず、群馬県埋蔵文化財センター発掘情報館では、群馬県の火山と遺跡の関係を学びました。山頂までは、車窓から見え隠れする砂防ダムを見学しつつ、外輪山を越えてカルデラ湖大沼を目指しました。赤城山北面では、西麓に広がる火山性扇状地の景観と土地利用を観察しました。利根川上流域の自然地形と諸災害、河川を通じた東京低地との関連を学んでください。

◆群馬県埋蔵文化財センター（発掘情報館） みなさんのアンケートから 女性○、男性●、（参加回数）です。

●金井東裏遺跡から発掘された甲を着た古墳人と説明して下さった、手造りのかぶとの似合う西田さんが印象に残りました。また収蔵品が多く、展示も見易く、時間がもう少し欲しかったです。掘ればまた発見がありそうなところですね（6 回目）



専門調査役 西田健彦さんから熱いご説明をいただきました！

●念願の場所で大変感謝しています。

発掘物に埋もれていた時は幸せでした（13 回目）

○担当の先生が熱く語られるので、とても解りやすく興味が湧きました。あらためて訪ねたいと思います。群馬は山だけではないですね！！（2 回目、ほか多数）

○①担当者の熱い思い！ ②積年の研究の成果が一冊にまとめられていたので購入。秋の夜長にゆっくり読みたい（9 回目）



だあ〜れだ？

●大地の神の怒りが鎮まるのを、地に伏して祈っていたのか。はたまた神の怒りから逃れんとして祈っていたのか。今となっては誰も判らない。ただの土塊となって兵はそこにある（4 回目）

●「甲を着た古墳人」と「骨製小札」は調査資料がまとめれば「新国宝」となる前に知りました。実物を見たかったヨ！！ 又、多量の焼物をもっとゆっくり、じっくり見たかった（4 回目）

●ハニワの数の多さと精巧さに感心しました。関東西北部が、これほど火山の影響を受けているとは思わなかった（6 回目）

●かぶとを脱いで、榛名山を向いて、山のいかりを静める祈りを 1500 年間続けてきた人が発掘された。役目から開放されてお疲れ様でした（7 回目）

●初めての見学でしたが、解説大変わかりやすかった。大災害のおかげで貴重な発見が続いたとのことで、サプライズでした（4 回目）

●結果として、火砕流の恩恵に驚く。収蔵品が多い（5 回目）

●高校時代、考古学班、地学班に入っていました。青春がよみがえりました（11 回目）

○考古学の深さを改めて感じ、歴史とは？（3 回目）

●埋蔵品の多いのにびっくり。葛飾区と大ちがい！！（12 回目）

●案内、説明、すべて満足でした。発掘に全力をしているのがわかりました（？回目）

●大変興味深く見学させて頂きました。今後のさらなる発見に期待します（初参加）



ヨロイの人 今頃になり 切りぎまれ
いにしへの 人の世偲び 蟬の声

◆道の駅 ふじみ（赤城山南麓からの景観）

- 関東平野の北のはしの眺望が、ゆるやかに続いていた（4回目）
- 裾野の大きさが実感できました（5回目）
- 天候があまり良くなかったので、はっきり見えなかったが、かなり高い所まで登ってきたことは実感できた（9回目）
- 赤城白川からの鍋割山が圧巻であった（2人しかみていない！）。カスリーン台風の土石流のおもかげがまったくみえない（6回目）
- 休み時間がちょうどよいので、景観として周囲も歩けます（初参加）
- ツアーの知らない人同志でおしゃべりしていたら、時がたつのを忘れた。食事、ハンバーグカレーおいしかった（11回目）
- 富士見か不死身か、それが問題だ（4回目）
- うどん用の小麦粉を買いました。モロヘイヤが売切れで残念！！ あいにくに「かすみ」で富士見は心の中で観ました？（4回目）
- 次は温泉に入りましょう（6回目）
- けなげな小菊を買いました。¥130-（13回目）
- 地元の産物、本しめじとのり巻を買いました（13回目）
- 道の駅も有名になっていくことに何を意味するのかな？（3回目）



鍋割山

赤城白川からみる寄生火山 鍋割山

◆鳥居峠・群馬県立赤城ビジターセンター・赤城神社

- 霧のため、ほとんど景色が見えなかった。次回のおたのしみ？（3回目、多分？全員）
- 視界 30mくらい。山も湖の霧の中。ビジターセンターで雰囲気味わった（4回目）
- ロープウェイは、いつ廃止になったのかなあー！ 大沼のワカサギは何時になったら、食べられるかなー。今朝は地元の八剱神社でラジオ体操をしてから、赤城神社におまいりしてきました（4回目）
- 赤城の大沼畔に、志賀直哉のゆかりの石碑を見、霧の先に次の興味が湧き出でり（13回目）
- ビジターセンター見学で、ガスで全く見えなかった峠からの景観が写真で確認できました。赤城神社では、ご神橋を渡り、りっぱな拝殿で良かったです（3回目）

白乳色の ガラスが如く 大沼がさざめく

白樺の 木立ちも見えぬ 朝霧に つつまれきゆ 乙女子の声

きり深く かなたに有川峰々を 思いえがきて たたずみおり

霧の中 あのあたりは覚満淵 幻の中に、我あることも まぼろし

霧の出で 赤城神社へ 赤き橋
霧襖 覚満淵を 想像す
霧深く ロマンを夢みる 山の神
月落ちて 志浩いづくや 赤城山
赤城山 視界ゼロです ざんねんです



○大沼＝霧たつ湖は、初体験、すてきでしたよ～、寒かったけどね。ケーブルの廃線駅跡もなかなか赴がありました。線路跡（？）、残っていてもうれしいですね（9回目）

●ビジターセンターはこじんまりして内容が少ないがっかり、でも大沼も幻想的でした。ぽっかり浮かぶ赤城神社（島だそうです）がキレイだった（6回目）



昭和 45 年 (1970) 再建の社殿



霧たちて 記念写真を 撮り損ね



峠より 霧中で探す 主役達

- おでんも食べたかった！ 寒。赤城神社、最近現在地に遷宮された様子、3.11 災害の跡もあった (6 回目)
- 予想外の霧に包まれ、外気の冷たさにびっくりした。赤城神社側の大沼は、幻想的に見えた (9 回目)
- 目を閉じて何も見えず、哀しくて目を開ければ、谷を埋める霧より、他に見るものはなし、嗚呼砕け散る眺めの望みは、せめて説明で心癒せよ、我は行く悲しき心のままで、我は行くバスで麓へ。詞 谷村新司。昴のメロディーでお歌いください♪ (6 回目)

◆道の駅 あぐりーむ昭和 (赤城山西麓からの景観)

- 昭和村は一度たずねてみたい所でした。以前 NHK - TV で、苦しい開拓の時を経て、水を得てやっと安定に向かっているドキュメント。時代の豊かさの町になっていて、昭和も昔になってきました (6 回目)
- 新しい時代に向け？ー希望を抱き開拓しただろうー。入植時代に思いをはせました (2 回目)
- 火山灰を何年も何年もかけて開拓したのだなあー。黒土の畑になるまで、何十年かかったのかなー (4 回目)
- かみさんの田舎が長野の川上村 (レタスで有名) なので、同じようなレタス畑とコンニャクイモ畑の写真をとってきた (6 回目)
- 曇空で何も見えず、立派な足湯施設で湯ったり。高値の野菜が、新鮮かつ安く買えて満足しました。高速 IC からも近い (6 回目)
- 谷川岳が見えず、残念でした (12 回目)
- 足湯快適 (5 回目、ほか数名)

いつもながら 橋本節聴くも 霧の赤城山
 大きあり 細さも並ぶ 足湯かな 子持も山が 見おろしており
 野の花を 買わずに帰る バスの中 群馬の旅の 夢にゆれゆれ

◆その他・自由欄

- 今夏、1W 毎に晴 (暑さ) と雨が交互に続き、夏らしさを忘れたところに広島
 の土砂災害。異常気象や地球温暖化で片付けられない人災の可能性も。せめてこの講座を受けていれば、住まない所。自然はこわい (恐ろしい) ですわ (6 回目)
- このツアーのおかげで今まで興味の無かったことに眼が向くようになりました (老後の楽しみ増えました) (9 回目)
- 何年かぶりの参加でしたが、やはり満足のゆくツアーでした。今回同行した 83 才の母はもう卒業かもしれないけど、一人でもぜひ同行したいと思います。赤城 Part3 をめざします (2 回目)

ツアー後記



担当学芸員 橋本直子

博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸

外輪山を確認できないまま、濃霧の赤城山は視界ゼロ・・・気温 14 度。自然の前になすすべもないことを実感しました。群馬の火山群と人間の営み肌で感じた g1 日でした。西田さんのパワフルなご案内、古墳人から目が離せなくなりました。調査の成果に期待しつつ、またお訪ねしたいと思います。それにしても御嶽山噴火、火山を学んだ私たちにとって、今後の経過から目が離せません。改めて想定外はないことを、みなさんの胸に強く刻んでください。

TOUR DATA		
時間	経過	滞在
7:33	博物館出発	
7:55	千住新橋IC	
8:09	川口JCT	
8:45	佐野SA	10分
9:45	渋川伊香保IC	
10:00	発掘情報館	90分
11:55	道の駅 ふじみ	60分
13:30	鳥居峠 (1390m)	10分
13:43	県立ビジターセンター	32分
14:16	赤城神社・大沼	25分
15:25	道の駅 あぐりーむ昭和	35分
16:02	昭和IC	
16:20	高崎JCT	
17:10	三芳PA	15分
18:25	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:佐藤 広幸さん		
走行距離:383 km (倍率1.48倍)		
応募70名、キャンセル5名、当日参加46名		
参加費2800円		



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
 TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>